



ハートガ いっぱい

「ぼくはどうしてここにいるんだろう」
大きな木はいつもつぶやいていました。



「ぼくはこんな汚れた地球に生まれたくなかった。
ぼくがもし自由に動くことができたら地球をきれいにして、
みんなが幸せになる、そんな世界にしたいなあ・・・」

大きな木のつばやきを聞いていたお月様が言いました。



「君がしあわせな気持ちになれば君の願いは叶うよ」

「え～！本当なの？お月様！ただしあわせな気持ちになるだけで？」

大きな木は空を見上げてさげびました。

「ほんとうさ！」お月様はやさしくこたえました。



それから大きな木はお月様に言われたとおり
しあわせな気持ちになって毎日をすごしました。



大きな木が毎日毎日しあわせな気持ちで過ごしているとある日、葉っぱがハートのカタチになっていました。



そしてハートの形をした葉っぱは大きくなって
空へと飛んでいきました。



そしてハートの葉っぱに羽根がはえて
空高く自由に飛んで行きました。



そして羽根のはえたハートの葉っぱは大空を飛んでいるうちに
みどり色の鳥になりました。

「ぼくの願いはほんとに叶ったんだ！お月様ありがとう！」
その声は大きな木の声でした。



「ぼくは地球をきれいにして、みんなをしあわせにするんだ！」
そう言って世界中を飛びまわりました。



そしてみどりの鳥が世界中を「しあわせな気持ちになるように」と
願いを込めて飛びまわったので、みんながやさしくてしあわせな気持ちになる・・・
そんなハートがいっぱいのしあわせな惑星になりました。

